

ナンバリング	科目名		サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
212BT24	交通政策論		国・自治体の政策、 交通事業者の施策に学ぶ	武藤 雅威	2年次前期	2
科目区分	専門	キーワード	規制緩和、上下分離、整備新幹線、モーダルシフト、自動運転			
ディプロマポリシーとの対応		2. 交通産業および関連分野での基礎能力（技術・理論）を有し、関連分野で活躍可能な能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力（技術・理論）を身につける				
事前に受講するとよい科目		交通概論、鉄道基礎、鉄道工学、鉄道数学、交通英語入門				
オフィスアワー		授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。				
教員への連絡方法		教員の短大メールアドレス				
講義の目的	交通政策とは、国（国土交通省等）や自治体（都道府県、市区町村）が交通を取り巻く問題解決のためや、より良い方向へ導くために行う取り組み（交通に関連する法令整備や制度設計等）のことです。これらの政策は人口減少や環境問題、先端技術の開発等、社会情勢を反映しながら形成されていきます。本講義では、鉄道会社等の交通事業者が行う施策も交えて、その過程や発現する効果を学び、交通政策に関する基礎知識を習得することを目的とします。					
到達目標	本講義で取り上げる交通政策および交通事業者の施策が「どのような意味を持つのか、社会にどのような影響を及ぼすのか」について議論できることを目指します。さらに、日頃から交通に関するニュースや記事等に関心を持つようになり、交通時事問題についての理解を一層深めてほしいと願っています。					
講義内容	講義では、それぞれの交通政策・施策が形成される背景となった社会情勢を踏まえ、最新の情報をもとに政策・施策の実例をわかりやすく解説します。特に、鉄道に関する政策・施策を多く取りあげます。学生の皆さんにはただ講義を聴くだけでなく、提示された課題から自らの考えをまとめる時間を与え、レポート作成やプレゼンテーションにつなげていく進め方とします。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	オリエンテーション	進め方と評価方法、交通政策の基本論			
	第2講	LRT、BRT の特徴と役割	なぜ今、LRT、BRT を整備するのか			
	第3講	都市鉄道計画	どのように鉄道新線が計画されるのか			
	第4講	都市鉄道整備支援の政策	都市鉄道等利便増進法、都市再開発と駅新設・改良			
	第5講	新幹線の開発と政策	新幹線開発の歴史と路線網の拡大、整備効果			
	第6講	リニアの技術開発と将来	リニア地下鉄、常電導・超電導リニアの特徴			
	第7講	貨物鉄道を取り巻く政策	鉄道貨物輸送の現状とモーダルシフトの促進			
	第8講	地方公共交通活性化策	持続可能な地方公共交通とするには			
	第9講	環境対策	世界と日本の環境政策、交通事業者の環境施策			
	第10講	安心・安全対策	鉄道事故防止策、自然災害に対する備え			
	第11講	先端技術との融合	自動車や鉄道の自動運転技術と実装への課題			
	第12講	沿線開発まちづくり	鉄道整備と沿線開発の意義、時代ごとの実例			
	第13講	日本の海外支援策	アジア諸国の鉄道整備に対する日本の支援			
	第14講	欧州の交通政策	インターオペラビリティ、上下分離政策等の特徴			
第15講	ディスカッション	交通政策の問題について考えよう（グループワーク）				
指導方法	初回と最終回を除き、本日のテーマに関する講義を約60分を行います。残りの時間でミニレポート課題を提示し、レポート作成時間を設けた後、ディスカッション（発表と質疑応答）をします。					
事前学習	事前配布する講義用パワーポイント（PDF ファイル）にあらかじめ目を通しておき、内容を頭に入れて受講すれば、講義内容への理解が深まります。1時間30分程度の学習時間が目安である。					
事後学習	事後学習として、講義中に作成したミニレポートの記述内容を振り返り、自分で新たな考察をまとめることにより、講義で学んだ知識が定着し、より理解が深まります。1時間30分程度の学習時間が目安である。					
成績評価方法	本試験50%（レポート）、平常点50%（通常講義時のミニレポートとディスカッション参加40%、第15講ディスカッション10%）					
課題（試験・レポート）に対するフィードバックの方法	レポート提出と評価を Classroom で行います。優秀なミニレポートには平常点内で加点をします。					
テキスト	毎回、パワーポイントの PDF ファイルを Classroom で事前配布します。					
参考文献	数字でみる鉄道 2024（運輸総合研究所発行）					
実務家教員による授業		教員 経歴				
特記事項						